

株式会社 INPEX 技術総合職 夏季インターンシップ 2026

株式会社 INPEX は国内外でのエネルギー開発事業を通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。本インターンシップでエネルギー業界の最前線で活躍するプロフェッショナルたちとの交流を通じて、エネルギー開発の理解を深めましょう。



コース一覧

	実施形態	コース	開催時期
①	対面	2 days 対面コース	[1] 2026 / 7 / 29 (水) ~ 2026 / 7 / 30 (木)
			[2] 2026 / 8 / 20 (木) ~ 2026 / 8 / 21 (金)
			[3] 2026 / 9 / 3 (木) ~ 2026 / 9 / 4 (金)
			[4] 2026 / 9 / 14 (月) ~ 2026 / 9 / 15 (火)
②	オンライン	1 day オンラインコース	[1] 2026 / 8 / 4 (火)
			[2] 2026 / 9 / 8 (火)

【お願い】

- INPEX の夏季インターンシップへのご参加にあたり、大学/大学院での授業や試験等を欠席することのないようお願いいたします。
- 当社では、夏季インターンシップの参加コース・日程の違いが、本選考結果に影響することはありません。

問い合わせ先：recruit@inpex.com（インターンシップ担当）

【オープン・カンパニー】コース①

内容・スケジュール※1

2 days 対面コース	
対象分野	INPEX 技術専門分野を横断的に学習します
開催期間	[1] 2026 / 7 / 29 (水) ~ 2026 / 7 / 30(木) [2] 2026 / 8 / 20 (木) ~ 2026 / 8 / 21(金) [3] 2026 / 9 / 3 (木) ~ 2026 / 9 / 4 (金) [4] 2026 / 9 / 14 (月) ~ 2026 / 9 / 15(火)
コース内容	専門ごとの働き方を総合的に学んだうえで、以下のような内容について、より専門別に特化した講義や座談会を通して学び、エネルギー開発の理解を深めることができるコース。 <ul style="list-style-type: none"> ● 石油・天然ガスの探鉱・評価・開発・生産における業務の概要 ● 脱炭素化に向けた取組み ● 各専門技術職の業務内容 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 地質、物理探査 ➢ 掘削、貯留層、生産 ➢ 施設（機械、電気、プロセス、土木、海洋、計装・制御、材料 等）、HSE ● 東京本社オフィスツアー、専門別の社員座談会

開催形式 : 対面（東京本社）

募集人数 : 各回 45 名程度

会社負担 : 遠方（関東圏外）からお越しの方については、一定額の宿泊費・交通費を支給いたします

自己負担 : コース中の食事代

参加条件 : 2028 年 4 月に新社会人となる予定の方

※1 スケジュールおよびコース内容は計画時点のもので、都合により変更となる可能性があります

【オープン・カンパニー】コース②

内容・スケジュール※2

1 day オンラインコース	
対象分野	INPEX 技術専門分野を横断的に学習します
開催期間	[1] 2026 / 8 / 4 (火) [2] 2026 / 9 / 8 (火)
コース内容	技術系の各専門分野での働き方を総合的に学べる 1 day コース。 各専門の技術者から「働く内容」「キャリア」などを生の声で聴くことができます。 「業界の内容をまずは習いたい」 「まずは一旦、全部の分野を学びたい」 そんな方にピッタリのコースとなっています。


開催形式 : オンライン（Zoom）

募集人数 : 各回 100 名程度


参加条件 : 2028 年 4 月に新社会人となる予定の方

※2 スケジュールおよびコース内容は計画時点のもので、都合により変更となる可能性があります

応募の流れ

2 days 対面コース ^{※3}	
Step 0	弊社 HP にアクセスいただき、28 卒マイページ登録を行ってください。 URL : https://axol.jp/zw/s/inpex_28/entry/agreement <div style="float: right; text-align: right;">  </div>
Step 1 (任意)	『INPEX 技術職仕事研究セミナー兼インターンシップ説明会』に参加 2026 年 5 月 12 日 (火)、6 月 1 日 (月)、6 月 11 日 (木) の 3 回、 いずれもオンライン (Webinar 形式) にて開催予定です。詳細はマイページでご案内します。
Step 2	エントリーシートの提出： 2026 年 5 月 14 日 (木) ~ 6 月 18 日 (木)
Step 3	履修履歴データの提出： 準備でき次第マイページにてご案内 ~ 6 月 18 日 (木)
Step 4	通過された方にのみ次の選考にご案内いたします。
Step 5	選考結果の通知： 7 月上旬頃から順次
Step 6	インターンシップ参加 (対面)

^{※3} スケジュールおよび応募の流れは現時点のもので、都合により変更となる可能性があります

1 day オンラインコース ^{※4}	
Step 0	弊社 HP にアクセスいただき、28 卒マイページ登録を行ってください。 URL : https://axol.jp/zw/s/inpex_28/entry/agreement <div style="float: right; text-align: right;">  </div>
Step 1	参加予約： 2026 年 7 月上旬 (マイページにてご案内) ~ 各イベント開催日の 1 週間前まで
Step 2	インターンシップ参加 (オンライン)

^{※4} スケジュールおよび応募の流れは現時点のもので、都合により変更となる可能性があります

参考情報

		INPEXにおける技術系職種						
		地質	物理探査	掘削	貯留層	生産	施設	HSE
専攻 の 専攻	地球科学系	●	●	●	●			
	資源系		●	●	●	●	●	●
	機械系			●	●	●	●	●
	電気・電子系		●	●		●	●	
	土木・建築系		●	●	●	●	●	●
	化学系			●	●	●	●	●
	環境系			●		●	●	●
	海洋系		●	●	●	●	●	
	情報系		●	●		●	●	
	その他理系		●	●	●	●	●	●

上記表はこれまでの実績ある専攻を中心に作成したものであり、表中にない専攻については別途ご相談ください。

地質：

地質学的知見を駆使し、地下深くに眠る資源（石油・天然ガス、地熱）の探鉱や開発検討を行うほか、CCS^{※5}・CCUS^{※6}事業においては貯留ポテンシャルを評価して適地選定を行います。

物理探査：

主に反射法地震探査技術を用いて地下構造を可視化し、資源（石油・天然ガス、地熱）の集積する構造の解釈や岩石物理学的解析を行うほか、CCS・CCUS事業においては、適地選定やモニタリングに携わります。

解説動画 <https://youtu.be/4pA9CMjEI4k>

掘削：

地上から貯留層にアクセスするための坑井のデザイン・掘削・仕上げを行います。従来の石油・天然ガス開発のみならず、地熱開発やCCS・CCUS事業においても、最適な坑井を計画通り安全に掘削する役割を担います。

解説動画 <https://youtu.be/MkpPcixARxE?si=UhgKLh9k4HslioJp>

貯留層：

主に貯留層シミュレーションを用いて地下資源の埋蔵量を評価する他、貯留層や生産システムにおける流体挙動を評価・予測して開発計画を最適化します。CCS・CCUS事業においても候補地の貯留能力をシミュレーションする他、圧入中のCO₂の挙動を評価・予測することでプロジェクトの方針を策定します。

解説動画 <https://youtu.be/BzvJNDjJSgQ?si=jy9xCYavs-psQptq>

生産：

油ガス田から効率的かつ最大限の資源を生産するために、井戸から出荷設備までの生産ネットワークの全体を管理・最適化します。

解説動画 <https://youtu.be/rqAsWSVK-NQ?si=MJDwbxul8kQXri2a>

施設：

機械、電気、プロセス、土木、海洋、計装・制御、材料等の専門性を活かして、石油・天然ガスの開発のみならず、水素・CCSなどの脱炭素事業や再生可能エネルギー事業などネットゼロカーボン社会に向けた取り組みにおける、陸上・海上プラントなどの生産施設の設計・建設・運転保守を行います。

解説動画 https://youtu.be/CnPG0CSNegw?si=1hbZA_uNimnoWnr6 (機械エンジニア)

<https://youtu.be/c5VP-5Ng4OQ?si=1rPlsO-FSLuCRvow> (プロセスエンジニア)

<https://youtu.be/up7Cbi3YuEg?si=MxfF4TcOWW1d5KCw> (パイプラインエンジニア)

HSE：

HSEはHealth, Safety and Environmentの略であり、石油・天然ガスや再生可能エネルギーなどの持続可能な開発のため、従業員や周辺住民等関係者全員の健康や安全、環境保全に気を配り、クリーンなエネルギー開発をするため、有害要因の洗い出し・リスク評価等を通じて、プロジェクト遂行のサポートを行います。

※5CCS: Carbon dioxide Capture and Storage

※6CCUS: Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage